



課題と目的	空き家の早期発見と空き家の市場流通の促進
取組内容	自治会等が取得した空き家情報を市に通報する制度の構築
成果	外見では分かり得ない活用可能な新たに発生した空き家情報が収集できた

## 自治会と連携した空き家の情報収集の概要

①協力自治会の募集(協力自治会44)  
宅建協会・金融機関と協定締結。

②自治会に住宅地図等を配布  
空き家の位置、現況、地域住民として  
知り得た情報を市に報告してもらう。  
(空き家情報提供票)

空き家情報提供票				【平成 年 月 日現在】
自治会名:		報告者氏名(連絡先):		
No.	住んでいた人の氏名	建物情報	空き家になった原因 (空き家になった時期)	維持管理の状況
1	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 二階建	<input type="checkbox"/> 転出( 年 月頃) <input type="checkbox"/> 死亡( 年 月頃) <input type="checkbox"/> 不明( 年 月頃)	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不全(当てはまるものに○) 1. 草木繁茂 2. ゴミ等散乱 3. 建物破損 4. 建物等倒壊の恐れ
2	<input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 平屋 <input type="checkbox"/> 二階建	<input type="checkbox"/> 転出( 年 月頃) <input type="checkbox"/> 死亡( 年 月頃) <input type="checkbox"/> 不明( 年 月頃)	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不全(当てはまるものに○) 1. 草木繁茂 2. ゴミ等散乱 3. 建物破損 4. 建物等倒壊の恐れ

③市が現地確認、所有者調査を行い、空き家カルテを作成。  
⇒ 所有者と交渉: 空き家バンク等による活用を促す。

④宅建協会内で空き家情報を共有し、空き家を必要とする人に積極的に  
提供。金融機関が市の補助制度や各種ローンを紹介し、資金面で  
バックアップ。

## その他の取組・成果

- 宅建協会・金融機関との連携  
宅建協会と協定締結(会員30社)  
市内金融機関と協定締結(4行20店舗)
- 空き家対応マニュアル  
構成 空き家の適正管理、活用事例、  
補助制度案内 等
- 空き家カルテの作成  
現地写真とともにデータを管理  
(報告件数101件、意向調査件数89件  
活用予定20件)
- 空き家活用セミナー開催  
参加者数 90名  
講師 NPO法人  
空家・空地管理センター  
代表理事 上田真一氏